令和４年２月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 696 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ ２月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

初めてラジオに挑戦！！
母国について紹介しました！

会員の三好東曜さんがパーソナリティを務める「ありがとうの音楽は世界だ！」（ＦＭ香川）毎週月曜日11時30分～11時40分）に、職員のデニスが１月３日、ビアンが10日に出演をしました。出演した際のテーマは「母国のお正月」。それぞれの母国での正月の過ごし方や料理についてお話しました。収録はリモートで行いましたが、かなり緊張した様子。収録後の２人に今回の出演についてコメントをしてもらいました。

ラジオに出演するのは初めてで緊張しましたが、とてもいい経験になりました。日本人にフィリピンの文化を紹介することが出来てよかったです。ありがとうございました！（デニス）

私の家族のお正月の様子です。親戚が集まって毎年賑やかな年末年始を送っています。

ラジオではこんなことを話しました！

Ｑ　母国のお正月について

デニス：最初に教会に行ってお祈りをして、今後悪いことが起こらないように、花火が打ち上げられます。

ビアン：お正月に限らずお祭りがあると、みんなでダンスをしたり、楽しい時間を過ごします。マレーシアの人たちは毎日がお正月気分です。

Ｑ　母国のお正月ソングといえば？

デニス：「Maligayang Pasko at masaganang bagong　taon」クリスマスからお正月にかけて聞く音楽です。

ビアン：「Original sabahan」私のふるさとサバ州で有名な歌です。

香川県の方々に私の村について紹介が出来たのがうれしかったです。もっと皆さんにふるさとの魅力をお伝えしたいので、もう一度参加したいです。待ってます！（ビアン）

無事に収録が終わって一安心しました！

お正月は皆でご飯を食べます。オススメはぼんじり！

神社参拝

１月７日（金）センタースタッフ一同と四国支部の塚田事務局長・崔事務局次長・三嶋さんで田村神社に初詣をさせていただきました。そこで、人生初のご祈祷を経験させていただきました。世界平和を望むオイスカの活動が今後も末長く続けられるように皆でお祈りしました。

その後、センタースタッフだけで冠纓神社にも初詣へ。四国研修センター生誕の地で、これまでの感謝と今後の更なる発展をお願いしました。

今年も良い１年になりますように！そして研修生が無事に来日して、通常のセンター運営が出来るようになりますように！（山崎）

今年もコロナに負けない年にしましょう！

イベント案内

お花見

日時：３月 27 日（日）
8:30～15:00
場所：尾の瀬山

毎年管理をしている尾の瀬山で初めてのお花見を実施します！ヤマザクラに囲まれて優雅なひと時を過ごしませんか？

TEL：087-821-1503
四国支部まで

チャリティゴルフコンペ

日時：３月 18 日（金）
8:00～16:00
場所：高松カントリークラブ

坂出推進協議会主管のゴルフコンペを今年も開催！
参加された方には、四国センターのお米、ジャム等をプレゼントします！

TEL：0877-45-0141
坂出推進協議会まで

さくら植樹

日時：２月 23 日（水）
9:00～11:00
場所：三豊市山本町
（宝山湖ボールパーク）

サッカーコート周辺に 60 本の桜を植えます。いろいろな種類の桜を準備しています！是非ご参加ください！

TEL：087-821-1503
四国支部まで

ぜひご連絡ください！
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、延期になることがございます。ご了承ください。）

２月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
４日	金	支部常任幹事会	四国支部	四国研修センター
23 日	水	さくら植樹	四国支部	三豊市山本町

OISCA × VALLE BOOKS

「FURUSATO！」２月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト

職員　ONE　TEAMとなって　コロナを乗り切ります！

研修生未だ入国できず

2022年も、はや1か月が経ちましたが、再び新型コロナウイルス感染者が増加してきたため、研修生も2月までは入国できなくなりました。研修生が来れない状態から1年が経過しようとしています。人数が少ない中の農作業や静かな食事など寂しい時間が続いていますが、職員8名でセンターの活動を盛り上げています。

イベントには、研修生の代わりにデニス（フィリピン）、ビアン（マレーシア）、四国支部の崔事務局次長（韓国）の外国人スタッフが積極的に参加して、国際交流をしてくれます。

早くコロナが収束して、研修生が来れることを願っています。（金澤）

12月には崔さんによる「キムチ教室」を開催しました。1月に「チヂミ教室」を開く予定でしたが、コロナで延期となりました。

四国センターの新たな取り組みをご紹介！

新商品が出来ました！

先日寒空の中、農業チームが「今年もキウイが丈夫に成長しますように」と愛情をこめて、剪定作業をしました。昨年は280kgのキウイを収穫。その中から販売できないものを加工にまわし、いつでもジャムにできるよう皮をむき、カットし冷凍保存しました。現在、冷凍庫の中はキウイでいっぱいです。

そんなキウイですが、ジャムだけでなく新商品として「キウイタルト」として販売することになりました。酸味の効いたキウイと甘いアーモンド生地が重なってとっても美味しいです！ぜひご賞味ください！（吉田）

～キウイ剪定中～

寒さに負けじと新たな命を育てます

1月18日、今年最初のヒヨコがセンターにやってきました！今回はメスが120羽、オスが10羽です。一般的にはメス10～20羽に対して、オスが1羽いれば有精卵になると言われています。

この時期は、ヒヨコの飼育箱の温度管理に気配りが必要です。一番寒い時期ですが、ヒヨコにとっての適温は30～35℃と高いため、こたつで温めてあげます。適温が保たれていると、気持ちよくなったヒヨコはまるで死んでしまったかのようにぐったりと脱力して眠ります。この温度が、親鳥に守られて眠っているような気にさせ、安心できるのでしょうね。しっかり親鳥のお役目を果たします！（安部）

快適で脱力しすぎて顔面が地面に刺さっています・・

研修生OB・OG特集！～私たちは母国で頑張っています～

マテ（ミャンマー）2019～2020年　家政コース

ミャンマーに戻ってから1年以上が経ちました。今はオイスカセンターで働いています。日本で勉強したことをミャンマーのセンターで教えたいと思っているのですが、現在コロナ禍で研修生がいないので残念です。研修生はいませんが私は食品加工の担当をしています。

センターでは、いろいろなパン、バターケーキ、誕生日ケーキなどを販売しています。パンは販売先に2日に1回出しています。忙しいけど、前からお菓子を作りたいという夢があって、実際に自分が作ったものが売られているのを見ると嬉しいです。

1番嬉しいのは、誕生日ケーキを作ることです。他の人の気持ちを考えて作っていると幸せです。センターのお菓子は、野菜なども使っていて健康のことを考えているのでコロナの中でもよく売れています。

センターにはスタッフが20人いますが、皆で協力しながらコロナ禍を乗り切っています。

エー（ミャンマー）2020年　地域開発コース

私はミャンマーセンターで「子供の森」計画の担当をしています。ミャンマーでは90近くの学校がこの計画に参加しています。しかし、昨年はコロナ禍の影響で休校が長引き、子どもたちとの植林活動ができませんでした。コロナはまだ続くと思うので、これからの対策を仲間たちと話し合っているところです。コロナに負けずに、ふるさとが緑のある地域になるように頑張りたいです。

ミャンマーは今、政治的な問題に直面しています。ですが、皆様からの募金等のお陰で頑張っています。本当に有難うございます。早くコロナが治まって、また皆さんに会えることを楽しみにしています。

パンやケーキはいつも心を込めて作っています。（マテ）

「子供の森」計画の他に畑の管理もしています。（エー）

ジョマリ（フィリピン）2020年　地域開発コース

みなさんお久しぶりです。私は2020年の12月コロナ禍ではありましたが、予定通り12月に帰国をしました。その後は2か月間コロナで思うように動くことができなかったため、ゆっくりしていました。2月からはオイスカ ヌエバエシア研修センターでボランティアをしました。農業では養豚、養鶏、稲作の担当をし、農業の他に日本語、日本の文化などを研修生に教えました。

私が日本で1番勉強になったことは、時間を守ることです。日本人は時間を大切にします。私も日本にいる時に、1日の時間割や課題の提出期限など厳しく指導されました。そのおかげで今でも心掛けています。これらのような日本で勉強した事を現地の研修生に教えることが出来て良かったです。

現在は会社勤めですが、休日はセンターのボランティアを続けています。（ジョマリ）